

平成22年11月22日

村上市長 大 滝 平 正 様

村上市行政改革推進委員会  
会 長 忠 聡

村上市行政改革大綱前期実施計画の平成21年度取り組みに  
対する意見について（答申）

平成22年9月21日付けで諮問された標記について、本委員会で審議した結果、下記のとおりまとめましたので、今後更なる行政改革の推進に努めてください。

なお、審議における主な意見を別紙にまとめましたので参考としてください。

#### 記

村上市行政改革大綱前期実施計画の平成21年度取り組みについて、資料に基づき市の評価を確認しました。

市として目標に対する事業の自己評価を行ったことは、行政改革の一環として意義あるものです。

しかしながら、各項目において計画どおり進められたもの、逆に、取り組みが遅れている、実施にいたらなかったものが見受けられますが、市として評価決定した理由付けが明確になっていないことから、より詳細に評価の過程が分かるよう内部評価の基準を見直ししていただきたいと思います。

それによって、「評価のための評価」でなく、評価したことがどう生かされていくのかを自覚した評価となり、職員一人ひとりの意識改革、更に住民サービスの向上につながっていくものと思います。

## 【別紙】

### 主な審議意見

- ・担当職員が、結果は別としても目標をもって事業を評価したことはいいこと。
- ・評価に限らず、自分たちのやっている仕事を見直しをするという習慣付けをする意味ではいいことで、職員も外部の人もわかるような評価のマニュアルがあればいい。
- ・評価をやったということは大事なことだが、D評価（実施できなかった）のものはなぜできなかったのか理由が明確に出てこないと外部評価もできない。
- ・内部評価の位置付けが進捗管理表を見ただけでは読み取れない。もっと根本的なところがないと評価できない。
- ・D評価というものが、なぜできなかったのか、理由、反省が読み取れない。
- ・D評価は問題があると思うので、率先して見直しするのか、そのまま努力するのか検討して、その結果を示してほしい。
- ・今の評価としてD評価があってもいいと思う。きちんとした方向性や課題を出してこれからやっていこうというものが見える。
- ・行政改革の取り組みとして載せた事業で、「効果が認められなかった」という項目は、修正や削除をしてもいいのではないか。それによって、外部評価する際の検討材料となる。
- ・目的を持ってやったことに対して、具体的にどういう結果になったかを評価する体制を検討し、評価する職員の意識改革と、より詳細な内部評価の基準をつかってほしい。
- ・行政が今までの評価軸とは別に、新たな評価軸を自ら見つけ出し、その評価軸を持って評価していただきたい。よって、まずは新しい評価軸を内部で検討してほしい。
- ・「評価のための評価」でなく、評価したことがどう生かされていくかということを自覚したうえで評価であってほしい。それが職員一人ひとりの意識改革につながるもので、更にサービスの向上につなげていくための評価ということを自覚してほしい。